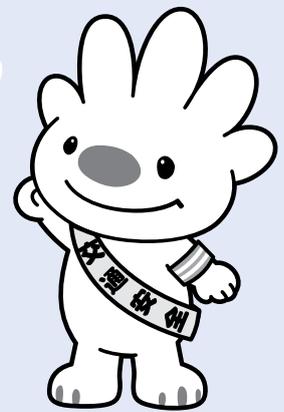


みんなで守ろう交通ルール 手稲区の交通安全



手稲区は昨年9月25日に交通事故死ゼロ連続700日を達成しました。しかし、最近では高齢者や自転車の事故が多発しています。今回は、そうした交通事故を防ぐためのポイントや区内の交通安全の取り組みについてご紹介します。

高齢者 事故の実態

平成21年中の札幌市内における交通事故死者25人のうち、65歳以上の高齢者が14人となり初めて半数を超えました。その中で、半数以上の方が歩行中に事故に遭った人ですが、手稲区内でも歩行時に高齢者が事故に遭うことが多い傾向にあります。夜間の外出時には反射材を付けるなど、運転手が識別しやすい服装をしましょう。

高齢者歩行者事故の特徴

- 道路を横断中の事故が多い
- 信号機のある交差点で、周囲への安全不確認による事故が多い
- 横断歩道以外での横断事故が多い
- 夜間は左から来る車との事故が多い

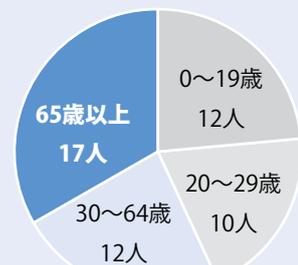


事故防止のポイント

- ①遠回りでも信号機のある場所で渡る
- ②渡る前には左右を確認
- ③横断中も周囲に注意
- ④夜の外出は明るい服装で
- ⑤近づく車は通り過ぎるまで待つ



■歩行中の傷者数（手稲区）



【平成21年中】

区内では、歩行中に事故に遭う高齢者の割合が全市より約1割高いです。お出かけの際は、気を付けてください。



自転車 事故の実態

札幌市内では、利用者の増加に伴って自転車に関係する事故が増えており、昨年は自転車乗用中の事故死者が2人でした。手稲区では、11月に歩行者が自転車にはねられて重症を負うという事故が発生しています。毎年、雪解けが進むこの時期から事故が増えますので、特に注意が必要です。

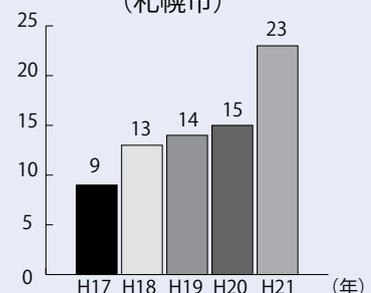
自転車事故の特徴

- 昼間の事故が4分の3を占め、特に朝と夕方に多い
- 自転車対歩行者の事故では歩道上の事故による傷者が多い
- 出会い頭の衝突が多い
- 周囲への安全不確認による事故が多い
- 死傷者は20歳代が多い

事故防止のポイント

- ①歩道は「歩行者優先」！ハイスピード通行は危険！
- ②傘差し運転や携帯電話、ヘッドホンの使用は危険！
- ③一時停止の標識や標示の際には必ずストップ！
- ④急な進路変更や歩道から車道への乗り入れは危険！
- ⑤夜や暗い場所での無灯火走行は危険！

■自転車対歩行者事故の死傷者数（札幌市）



自転車対歩行者の事故は増加しています。自転車の安全な乗り方について再確認しましょう。

